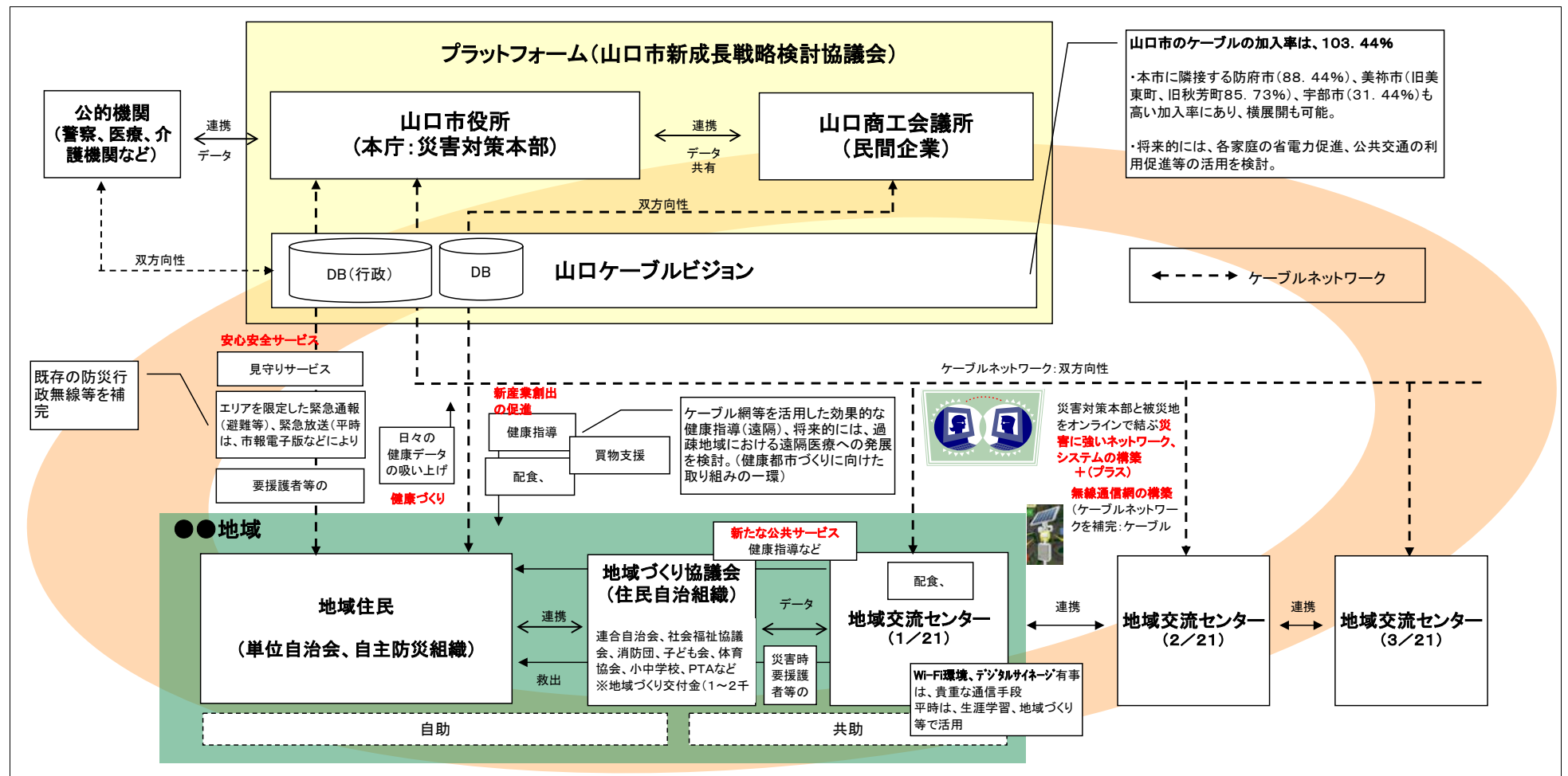


山口市／ICT(ケーブルネットワーク等)を活用した、市民生活の安心・安全の確保に向けた調査事業

資料3-3

提案者	山口市
本市の概要	本市は、平成17年10月、22年1月の2度の市町合併を経て、約19万5千人の人口と、1000平方キロメートルを超える市域面積(全国第29位)を有している。また、瀬戸内の臨海地域から、都市部を経て、中国山地の中山間地域まで、多様な地域、地勢を有しており、わが国の国土形成の縮図ともいえる状況にある。現在、少子高齢化、人口減少が進む中で、市域を21の地域に分けて、ガバナンス機構(総合支所、地域交流センター)の整備を図るとともに、地域に権限、財源等を委譲するなど、全国でも先進的なフレームで、防災から、地域振興、生涯学習、環境整備まで幅広く、住民主導の地域づくりを展開してきているところである。
事業概要	全市域に張り巡らされたケーブルネットワーク等を活用して、安心、安全サービスの提供や災害に強いネットワークの構築など地域防災力の強化を図るとともに、各世代、地域に応じた効果的な健康指導、自発的な疾病予防ができる環境整備に向けて、ケーブルネットワーク等を活用するシステム設計、世帯向け公共サービスの充実など、ソフト、ハード両面から、事業化の可能性、採算性等の調査を行う。また、健康、食育指導などトータルヘルスケアを軸にした新たな公共サービスの提供できる体制づくりや、システム運用のコストを吸収できる収益事業の展開の可能性など、地域経済の活性化にも寄与できる事業体のあり方についてFS調査等を行っていくもの。



■ICTを活用した地域防災力の強化、健康づくりのプラットフォーム(総務省ICT街づくり推進事業)

